

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

C 児童福祉施設

1 保育園

令和3年3月

魚津市

(所管部署：こども課)

目 次

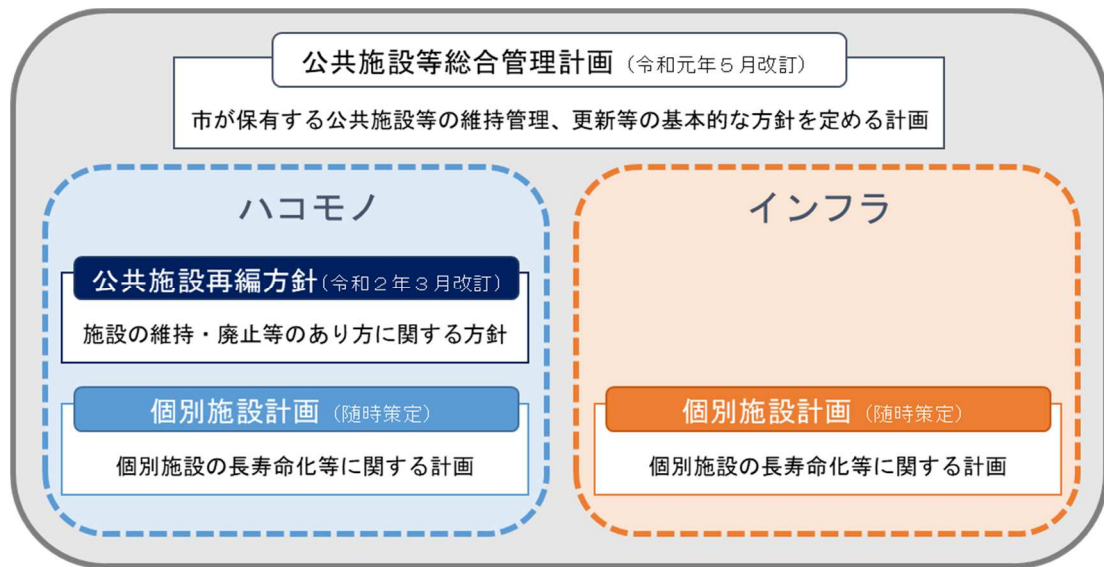
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 5
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 7

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和元年5月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「保育園」の施設類型の全施設とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	道下保育園	S56	38	RC/2	896.86	1,168	81.1%	・玄関の階段部分のタイル剥離	不要			
2	青島保育園	S56	38	RC/2	1066.20	1,891	84.9%		不要			
3	経田保育園	H4	28	RC/1	709.80	2,763	68.2%		対象外			
4	片貝保育園	H12	19	W/1	331.25	849	86.4%		対象外			
5	松倉保育園	H16	15	W/1	454.59	1,618	77.0%	・ウッドデッキに反りあり	対象外			
6	野方保育園	S49	45	RC/1	622.08	1,650 (1,650)	96.5%	・保育室の洗面所のタイル剥離しテープで応急処置している ・雨漏りがあり天井裏にバケツを置いて対応しており遊具室の天井も浮いている ・外壁剥離し落下の危険あり	対象外			
	合計				4080.78	9,939						

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）		収支（千円）							
		H30	R1	H30				R1			
				収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	道下保育園	1,001	961	16,697	116,926	▲ 100,229	3,610	14,958	124,202	▲ 109,244	3,610
2	青島保育園	1,002	1,074	20,229	118,902	▲ 98,673	4,311	14,259	119,786	▲ 105,527	3,805
3	経田保育園	859	817	17,438	102,309	▲ 84,871	3,133	10,635	103,284	▲ 92,649	3,133
4	片貝保育園	250	200	4,753	56,597	▲ 51,844	5,817	2,694	58,167	▲ 55,473	5,817
5	松倉保育園	369	305	7,611	59,636	▲ 52,025	6,117	4,208	60,392	▲ 56,184	6,117
6	野方保育園	504	432	9,531	70,042	▲ 60,511	1,497	5,482	64,275	▲ 58,793	1,497
	合計	3,985	3,789	76,259	524,412	▲ 448,153	24,485	52,236	530,106	▲ 477,870	23,979

令和元年度時点での公立保育園で一番園児数が多いのが青島保育園、一番少ないのが片貝保育園となっている。また、園児数の年齢別の入所児童数をみると3歳以上児の割合が高く、市内の年齢別人口数をみても今後出生数減少に伴う少子化の進行が考えられることから、現在の3歳児以上児の卒園とともに、いずれの園でも在園児数が大きく減少することが予想される。

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

保護者の就労や病気等により家庭で子どもをみることが出来ない場合に保護者の代わりに保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。

3.2 現状と課題

(現状)

公立保育園は一部を除き建物の老朽化が進んでいます。また、公立保育園は、私立認定こども園と比較すると充足率が低く、定員割れの状態が続いており、公立保育園の一部においては、子どもが心身ともに健やかに育つ保育環境の「適正」な人数に「満たない」状態にあります。

(課題)

公立保育園は昭和40年代から50年代に建築された園舎があり、老朽化が進んでおり、乳幼児は避難行動要支援者であり、園舎の老朽化は大きな課題です。園舎の老朽化を勘案しながら園の適正配置を進めるとともに、当面運営継続していく園については、長寿命化対策を進めていく必要があります。

3.3 今後の考え方

①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和元年改訂版）抜粋）

<再編方針>	目標年度：短期（R6）
○令和6年度までに保育園の統廃合を進めるとともに、民間へのシフトを図る。 ○当面維持していく保育園については、長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。	

②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

⑤社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
1	道下保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る								④⑦	長寿命化により使用期間を延伸											
2	青島保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る								④⑦	長寿命化により使用期間を延伸											
3	経田保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																				
4	片貝保育園	②②	適切な維持管理・改修等を実施																			
		← 統廃合の検討 →																				
5	松倉保育園	適切な維持管理・改修等を実施				②②																
		← 統廃合の検討 →																				
6	野方保育園	④⑦	適切な維持管理・改修等を実施																			
		← 統廃合の検討 →																				

※ ②及び④⑦は、減価償却資産の耐用年数（保育園（木造）22年、（RC造）47年。）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、「保育園」の施設類型全体で約2億7千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。